

事業番号	事務事業名	日上山城整備事業費			所管課名	生涯学習課	令和 3 年度課長名	黒瀬 豊	
06466	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	文化財係	担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35	文化財と伝統行事の継承			根拠法令等	日上山城史跡保存整備委員会設置運営規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	小瀬甫庵の碑(町有地)の草刈り委託(ミニシルバー)	小瀬富美子氏より町に贈られた寄付金を基に、平成2年に基金が設立された。令和2年度までは日上山城史跡保存整備委員会を設立し、史跡を借地して整備事業を進めていたが、借地契約期間が終わり、基金も少なくなったため委員会は解散。令和3年度からは残った基金で町有地の草刈りのみ実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 日上山城	ア 保護する史跡	箇所	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
イ 日上山城を守る会会員	イ 日上山城を守る会会員数	人	見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 地域住民に文化財の重要性を理解してもらう	ア 草刈の回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%
イ 日上山城史跡の保護	イ 見学会の開催数	回	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 委員会の開催	ア 委員会開催回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	2 2 100.0%	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費		03 02		日上山城整備事業費					
	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	前年比	決算	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	前年比			
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	789	1,578	3	50	50	-1,575	その他特財	515	847		50	50	-847			
一般財源	55	55	0	0	0	-55	一般財源	21	17	2	0	0	-15			
合計	844	1,633	3	50	50	-1,630	合計(A)	536	864	2	50	50	-862			
財源名称	日上山城史跡保存整備基金利子						従事正職員人数	3	3	1	1	1	-2			
	日上山城史跡保存整備基金繰入金						延べ業務事務時間	25	20	5	5	5	-15			
							人件費計(千円)(B)	88	67	17	17	17	-50			
	最終予算額		3 千円		予算執行率		66.6%	トータルコスト(A+B)	624	931	19	67	67	-912		
主な支出事業内容(予算)	委託料					3 千円	主な支出事業内容(決算)	委託料					2 千円			

事業番号	06466	事務事業名	日上山城整備事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	日上山を守る会は高齢化等により活動が困難で、29年度より事務局が事業を行っている。借地契約は令和元年度で終了、史跡保存整備委員会も2年度で解散した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	借地契約期間が終了したことで、史跡保存整備委員会を解散した。令和3年度以降は、残った基金で町有地の草刈りのみを行うこととした。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	借地契約終了後も、町で史跡の整備を続けてほしいという地元からの要望がある

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明 町指定文化財である日上山城の保存整備を目的としているので、結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明 本事業は、日上山城の整備を目的とした基金により実施している事業であり、基金の管理は町が行っているため、町が関与せざるを得ない。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明 日上山城主の子孫である小瀬富美子氏から寄贈を受けた基金によって行われている事業であるため、本目的以外を対象とすることが難しい。
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明 日上山城の整備や日上山を守る会が高齢化等により、活動が困難であるため、成果の向上は期待できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明 基金がなくなるまでは、現状で続けていくことが必要である。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明 委員会の解散以降は、シルバーへ町有地の草刈委託を行うための事務のみのため、改善余地はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明 借地契約が終了したため、借地料の支払いはなくなる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明 史跡保存整備委員会が解散したため、業務時間は削減できている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明 基金の目的が日上山城の整備であり、現在は町有地のみの整備であるため適正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	委員会の解散以降、業務量は少ない。ただ、基金がある以上、何らかの活動は行っていく必要がある。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>借地契約が終了し、委員会も解散したため、事務事業自体は大幅に削減されているが、基金を消化するため、最小限の整備は行っていく必要がある。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
基金がなくなるまでは本事業を続けていかなければならないが、草刈りのみの実施で良いのか、基金を有効に活用するために他に何か方法はないか検討することが課題である。																							